

第2分科会(福祉・医療・教育)意見及び将来像

■福祉

- 高齢者が住み馴れた地域で尊厳を保ち、いきいきと生活できるまち(認知症の方が増えている)
- 文化会館等、いろいろな施設をまわる小型の巡回バスがあり、誰もが元気に活動できるまち
- ただ協力を呼びかけるだけでなく、参加することで参加者が得をするようなきっかけがあるとよい(ボランティアでポイントを貯めて、老後にそのポイントを利用できる制度など)
- 心配事を気軽に相談できるようなコミュニケーションの場が大事
- 障がい者の意思が尊重され、必要とするサービスの支援が受けられ、地域で自立して生活できるまち

第2分科会(福祉・医療・教育)意見及び将来像

■ 医療

- 健康維持・増進のために、体操などの運動や栄養指導をするイベントを増やす
- 健康増進で医療費削減が図られる

■ 多世代交流

- 子どもから高齢者のつながりを大事にしたまちづくり(子どもからお年寄りまでの多世代の人たちが、将棋などをして交流を深める場所があると良い)

第2分科会(福祉・医療・教育)意見及び将来像

■子育て

- 親の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境の整備(保育園の早朝保育や延長保育制度の充実)
- 待機児童の解消
- 見るだけでなく、市民が自ら参加したくなるようなイベントやボランティア等の情報発信
- 妊娠から出産、子育てまでの一貫した支援
- 保育園と幼稚園の機能を持った施設の検討
- 子どもを増やすために、例えば子育て世代への家賃補助等の人口増加対策が必要

第2分科会(福祉・医療・教育)意見及び将来像

■教育

- あいさつをしたらあいさつが返ってくるような、互いに支えあい・助け合い・信頼のおけるまち
- 地域のつながり・交流を大切にして、蓮田全体に広める
- 小中一貫校による教育を拡大
- 市民が生涯にわたり自主的に学習・スポーツ活動ができるまち(市立図書館の充実、講座・講演会の充実、スポーツ施設の整備)
- 国際交流・情報化社会に対応した、質の高い教育を進めるまち

第2分科会(福祉・医療・教育)意見及び将来像

■その他

- 10年後の夢を語るだけでなく、一步一步作り上げていくことが大事
- パソコンが使えなくても市の情報を知りたい
- 気楽に散策できるような場所がもっとほしい